



広報

よもぎた



平成15年 No. 322



ウェスと一緒に！

1月24日（金）、幼稚園のお楽しみ会でウェスと追っかけっこのゲームをして楽しく遊んだあとのひとこま。みんなちょっと疲れたのかな？それとも緊張してるのかな？静かなお昼ご飯でした。

CONTENTS

- 村連合PTA研修会
- 功労表彰・文化、スポーツ表彰
- クローズアップ
- むらのできごとあれこれ
- 我が家の冬（夏）休み
- 児童川柳ペンシル
- ウェスズコーナー
- お知らせ情報局
- 傘松川柳同好会
- 戸籍の窓口



村連合PTA研修会

話し合ってみました いろんなこと。

『合つて、みんなで話し合つて考えてみよう！地域ぐるみで子どもを育成するために 蓬田の子ども健全育成をめざして』

「なぜ健全育成が必要なのでしょう。今、子どもたちを取り巻く環境は、私たちが子どもだったころに比べ、遊び、テレビ番組、遊び場等、どれ一つとっても大きく変化しました。と同時に、子どもの心の成長も大きく変わりました。すぐキレル子やすぐ飽きてしまつて長続きしない子。」

しかし、大人の立場から考えると、子育てがよくわからない、子どもとの接し方がよくわからないという親も確かにあり、決して子どもだけの問題ではないように思います。

今回の研修会は、積極的に意見を交換するという内容でした。参加者は少なかつたものの、参加した全員が発言し、時間が足りないくらい活発な議論がなされました。これからもPTAが主体的に取り組んで研修会をしていきます」

村連合PTA事務局

蓬小 尾崎教頭

いつもは口うるさい…かもしれないお父さん、お母さん、先生、地域の人たちはこんなふう考えています。小・中学生のみなさんにも知ってもらいたい。そんな思いを込めて、ここに話し合われた内容を紹介します。小さな子にはわかりやすく説明してあげてください。家族で話題にしてみたいかがでしょうか。

小学校分科会

テーマ「完全学校週5日制のもとでの地域・学校での取り組み」

- ・土曜日は友達と遊んでいる。
- ・共働きの家庭でも、親の目の届くところで。(どこで誰と)
- ・子どもにはいくつかルールを。(朝夕や食事のあいさつなど)
- ・しかるときはしっかり、褒めるときは褒める。親と子の関係をしっかりと。
- ・基本は家庭の中でのあいさつ↓地域ぐるみの育成も同じ。
- ・子の顔と名前を覚える。
- ↓子の名を呼んであげる。(これが地域の育成に)

- ・中学生は大人と違ってすぐ放すのではなく、死ぬまで子ども。(年齢に合わせた指導を)
- ・ボランティア(廃品回収など)も効果的。
- ・親子で共通の話題をもつ。(例えば社会の事件の話をして、一緒に考えてみる)
- ・自分が家族、地域の一員であることを自覚させるような育て方。

- ・子は宝。子どもに手間をかけているか。
- ・親の輪が、子の輪に。上の子が、下の子に。
- ・子どもの宿題をみているか。
- ・土曜日に行事があれば。(月に一度くらい)

中学校分科会
テーマ「子どもの成長に伴う家庭の役割」

- 朝食を食べない。
- ・夜寝るのが遅いから。朝食抜きは集中力に欠け、活力・体力不足につながる。
- 携帯電話
- ・県内でも出会い系サイトで女子中学生がつかまつている。
- ・親とのやり取りのないまま、電話料金が高額に↓

ま、電話料金が高額に↓

子ども週末活動支援事業

村教育委員会では小・中学生を対象に地域の方々の力を借りながら、こんな取り組みをしてきました——

●サイクリング 10/19 (土)

ふるさと総合センターから高根～瀬辺地開拓までの道のり。天気にも恵まれ、昼はみんなで豚汁を。周囲を散策し、山ブドウを採るなど自然を満喫しました。



●リース作り 11/30 (土)

藤村柳子さん(長科)を先生にクリスマスリース作り。親子が多数参加。雪だるまのマスコットやリボンなどでとってもかわいく仕上がりました。女の子だけじゃなく男の子たちもたくさんいました。



●お菓子作り 12/14 (土)

前回に引き続いて藤村さんを先生にむかえ、アップルパイ作り。パイ生地やリングは藤村さんたちが準備してくれました。リース作りと同じくかなりの人気で70人以上の参加が。ボリュームたっぷりのおいしいパイでした。



今後も陶芸など、いろいろな活動を予定しています。



族の中で話し合いができて
いる上でのことならかまわ
ないのでは。
・外国の親にはきちんと威
厳がある。日本は子どもが
優位に立っている感じ。
○自然体験
・昔の親は、子どもに働く
姿を見せてきた。今、そう
いう体験が少ない。
・先日、イモを掘らせたら
喜んでやっていた。「誰の
が大きい、小さい。どうし
て？」↓会話の中から物を
覚える。
・自然体験の不足がある↓
学校で「総合的な学習の時
間」を設けている。
○学校・家庭・地域の連携・
悪いことをしたらしかるの
も大事。たたくことも時に

は必要。昔の先生は、たた
くのが当たり前だった。
・最近の子どもは、なぜた
たかれたか、何が悪くてし
かられたかわからない。
・昔は「集団教育」が徹底
されていた。悪いことをす
れば、仲間も同じようにし
かられた。今は、個が尊重
されているため、グループ
のボスを指導しても他のメ
ンバーが良くなるとは限ら
ない。
・学校開放の一環として
「オープンウィーク」が行
われた。一方で、職員室・
校長室の開放も。基本的な
考え方は「学校は『みんな
の学校』」。子どもを見てほ
しい。先生方を育ててほ
しい。学校全体の動きをみ

てほしいということ。その
中で保護者の声も聞きたい。
・土、日には、先生方を地
域へ。
・顧問の先生にマニュアル
を作ってもらったら、親た
ちが交替で面倒を見れるの
では。各部の父母の会をは
きりさせよう。
・先進国で先生が部活をや
るのは日本だけ。日本は学
習も子育ても学校に預けて
きたのが今の課題に起因し
ている。
○助言
・子どもにもそれぞれタイ
プがある。どのように子ど
もに関わるか時と場合を考
えて。

平成14年度

功勞表彰・文化、スポーツ表彰

1月21日(火)、平成14年度の自治功勞表彰と文化・スポーツの教育表彰式がふるさと総合センターで行われました。

本年度、功勞表彰には長年、各般にわたって活躍された7名と、善行者表彰1名。また、村教育委員会表彰には、芸術・文化・スポーツなどの分野で功績のあった14名、1団体がそれぞれ受賞しました。

式には受賞者をはじめ関係者が出席し、式のあと、受賞者を囲みお祝いしました。受賞された方は次のとおりです。(敬称略)



▲表彰を受ける石田正信くん

村表彰

【功勞表彰】

▼田中 博 (瀬辺地)
○自治会長、村消防団分団長として地方自治の振興と民生

安定に多大の貢献。

▼鈴木キヌエ (阿弥陀川)

○村公民館運営審議委員、村社会福祉協議会評議委員として地方自治の振興と社会福祉の向上に貢献。

▼工藤 久子 (中 沢)

○自治会役員、村民生委員として地方自治の振興と民生安定に多大の貢献。

▼坂本 貞子 (長 科)

○村保健協力員、村食生活改善推進委員として住民の保健衛生と健康増進に多大の貢献。

▼福井 勉 (郷 沢)

○村消防団員、村漁業協同組合理事として民生の安定と産業の振興発展に多大の貢献。

▼佐井 一衛 (阿弥陀川)

○阿弥陀川農事振興組合役員、村消防団員として農業の振興と民生の安定に多大の貢献。

▼小鹿 秀敏 (長 科)

○村消防団本団付部長、村商工会理事として民生の安定と産業の振興発展に多大の貢献。

【善行表彰】

▼久慈 一司 (広 瀬)

○海難事故において自己の危険をかえりみず人命救助。

村教育委員会表彰

【芸術・文化賞】

▼福浦竹次郎 (瀬辺地)

○長年にわたり村文化協会役員、松楓会々長を務め、村の芸術・文化の向上発展に貢献。

▼小田桐弘明 (長 科)

○第29回「日象展」大賞。

▼藤本 奈七 (弘大1年)

○第2回青森県書道展「秀作」。

▼山本 陽子 (蓬中3年)

○平成14年度国際協力スピーチコンテスト青森県知事賞。

▼藤本 結子 (蓬中3年)

○平成14年度国際協力スピーチコンテスト青年海外協会々長賞。

▼佐々木 琢磨 (蓬中3年)

○J A 共済青森県小・中学生交通安全ポスターコンクール最優秀賞。

▼佐々木 愛 (蓬中1年)

○青森県海をきれいにする運動ポスターの部特選。

▼石田 明信 (蓬中3年)

○東北中学校陸上競技大会共通男子三種競技A第3位。

▼村体育協会卓球部

○第57回市町村対抗青森県民体育大会卓球競技村の部第3位。

▼稲葉 宏 (高 根)

○第57回市町村対抗青森県民体育大会陸上競技男子1000

▼中川貴世仁 (郷 沢)

○第57回市町村対抗青森県民体育大会陸上競技男子1000メートル村の部B第2位。

▼藤田 祐己 (北高3年)

○第82回全国ラグビー青森県大会優勝。

▼三上 琢義 (北高2年)

○第82回全国ラグビー青森県大会優勝。

▼川内 智浩 (北高3年)

○第55回青森県高等学校総合体育大会陸上競技男子走高跳第3位。

▼石田 正信 (南高3年)

○第55回青森県高等学校総合体育大会バスケットボール第3位。

平成14年度蓬田村教育委員会表彰式



▲功勞表彰、善行表彰者

クローズアップ

1

ジャンルを問わず何かに取り組み頑張っている人、グループをご紹介。今回は…

乳幼児をもつお母さんが結成した育児サークルがある。

自身も2人のお子さんをもつ、代表の福井智美さん（郷沢）にお話を聞いた。

「ちょうど上の子が1歳くらいのころかな。初めての育児だったし、よく泣く子だったから、日中2人だけだとほんとに大変で、気持ちに余裕がなかった。それで、誰か一緒に遊ぶ人いないかなあ、と（笑）。村の予防接種で一緒になったお母さんに軽い気持ちで声をかけたのがきっかけ」。

ほかの親子とも楽しく交流する機会を作ろうと郷沢の同年代の子どもをもつお母さん数人で結成したのが3年前。以来、友達から友達へと輪が広がり、中沢から広瀬まで会員は現在18名。活動はふるさと総合センターで週に1回、午前中の2時間ほど。

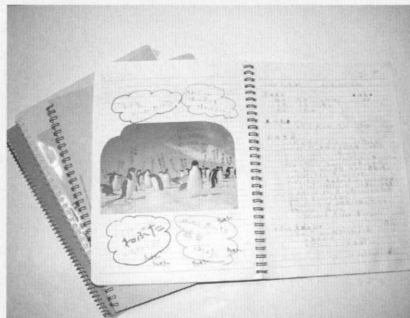
「子どもが風邪をひいたり、

家の用事があつたりして、毎週参加できるわけではないけど、その時そこに行けば必ず誰かいるっていうの、いいでしょ」と福井さん。同じ仲間がいるというところが安心感につながる。

保育所、幼稚園にあがる前に同年代の子どもたちと一緒に遊べるようになるというのがこのサークルの目的のひとつ。おもちゃで遊んだり、絵本を読んだり、ビデオを見たり。家にいるのと同じ遊びでも同じ年ごろの友達と一緒に、というのが重要だ。七夕やクリスマスなどのイベントがある時は、親子そろって飾りを作ったりパーティーをしたりしている。

もう一つの目的は、お母さんのストレス解消。日ごろの育児などに関する悩みや不安など、みんなでおしゃべりするだけでも気分転換に。昨年は大人だけで着付けやガーデニングなどに挑戦した。

結成当初から続くノート。好きなことを何でも書いておうちという、懐かしの(?) 交換日記。中は絵や写真つきでにぎやか。



サークル内にこれと言って決まりはない。特にお金をかけて、ということもない。メンバーがだんだん増えてきたのは自由な雰囲気がいいからなのかもしれない。親がいい顔をしていけば、自然に子どもにもそれが伝わる。最後に福井さんは「自分だけで育てようと思わないで。周りの人の手も借りればもっと楽しく子育てできるよ」と加えた。

まだ参加したことがないというお母さん、お子さんと一緒に気軽にサークルデビューしてみませんか？

昨年の5月。折紙でこいのぼり作り。上手にできました。前列1番左が代表の福井さん。



『親も子も楽しむ』 がモットー

育児サークル「プレイランド♡スマイル」

〈連絡先〉 役場住民生活課 健康班
担当 相馬保健師
☎27-2112

むらの

できごと

あれこれ



素敵な歌声に みんなうっとり…

明るい雰囲気に合わせて

12月15日（日）、蓬田商工会女性部の皆さんが蓬生園を慰問しました。

手作りのきな粉入りのおもちやよもぎ茶を振る舞ったあと、ダンスや蓬かほりさんの歌が披露されました。食堂に集まったおじいちゃんおばあちゃんは楽しい踊りや歌に笑顔を見せ、一緒に手拍子を打ったりして楽しくひとときを過ごしました。

墨の香り漂う中…

1月10日（金）、幼稚園児から一般まで24名が参加し、恒例の書き初め大会が中央公民館で行われました。

坂本毅^{つよし}さん（中沢）を講師に迎え、真っ白な半紙に向かい、手本にならってのびのびと書いていました。ゆったりと書く子どもたちとは対照的に熱く指導するお母さん方の姿が多く見られました。

金賞受賞者は次のとおりです。（敬称略）

小猿^{しょうや} 翔也（1年）坂本^{ももか} 百佳（2年）

高田^{たかた} きらら（3年）小松^{こまつ} 千峰（4年）

小松^{こまつ} 由佳（6年）



元気いっぱい 上手に書けました

真剣勝負!!

1月12日(日)、第2回蓬田村民トランプ大会がふるさと総合センターで開催されました。

優勝者にはカラーテレビ、副賞として蓬田紳装よりブレザー、2位はDVDプレイヤー、3位はビデオデッキと豪華賞品が並び、40名が参加して白熱したゲームを繰り広げました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

優勝	倉谷 一	(阿弥陀川)
準優勝	吉崎 良一	(蓬 田)
第3位	川崎 昭一	(広 瀬)
第4位	小鹿 一義	(長 科)
第5位	久慈 光夫	(広 瀬)



ゴニンカン大好き!



きっと お口に合うと思いますよ

自慢の味をぜひどうぞ!

1月17日(金)から2日間にわたり、東青地域の特産物が大集合し、アスパム(青森市)で「元気なかつちゃの味自慢・うで自慢」が行われました。

訪れる人は1日目こそまばらだったものの、2日目はテレビのニュースの効果もあってか、大盛況。

村からは、トマト加工グループとマザー加工部のみなさんがトマトケチャップや笹もちなどを販売しました。手作りの味を試食したお客さんには大変好評で、商品は飛ぶように売っていました。

全国ベスト8 おめでとう!

1月18日(土)、今年、青森北高ラグビー部の選手として花園出場を果たした藤田^{ゆき}裕^{たくよし}くん、三上琢義くんの活躍を祝う会が中沢自治会主催で行われました。

二人の健闘をたたえ、その活躍を後世に残しておくため絵馬にして中沢稲荷神社、傘松観音に奉納。会場の中沢公民館には、50人以上が駆けつけ2人を祝いました。

最後にあいさつに立った藤田くんは「卒業後はOBチームで続けていきます」と述べ、まだ2年生の三上くんは「来年も花園に出場します」と力強く話してくれました。

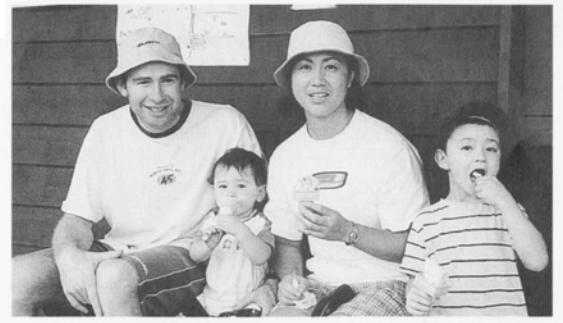
祐 右己君 第82回 琢義君 全国高校ラグビー



お祝いされて笑顔を見せる藤田くん(左)と三上くん

マキ・ステイブンスさん

(旧姓 久慈真喜さん 瀬辺地) オーストラリア在住



▲旅行先の北海道ニセコにて

G・DAY!ハロー!こんにちは!お元気ですか?早いもので、こちらでの生活も8年目に入りました。昨年には、次男・成も誕生し、家族4人、にぎやかにやっています。

今年も日本の夏休みに合わせて、7月末から4週間ほど、1年ぶりの里帰りをしました。家族や友達に会い、昔話に華を咲かせたのはもちろんですが、今回は蓬田村のいろんな行事に参加できて、オーストラリアではできない、とても貴重な経験をすることができました。

村民運動会。長男・界カイにとって初めての運動会でした。瀬辺地自治会のはちまきをして、幼児20メートル走に参加できたのがすごくうれしかったみたいです。

景品のお菓子はすぐに食べてしまいました。また、最後の自治会対抗リレーを撮影していた夫・シヨーンは、応援に熱が入りすぎて、ビデオのほとんどが風景でした。綱引

きに参加した本人は、次の日、筋肉痛だったみたいです。

海まつりは今年で4回目かな?玉松海水浴場も整備されて、きれいになりましたよ。初めに参加した時は、まだ結婚する前で、シヨーンがターザンゲームで優勝して、桃太郎トマトをもらった記憶があります。'94年だったかな?この頃は、シヨーンもまだ村に慣れてなくて、肩に力が入っていたような感じだったのと、皆さんの方も、外国人ということでも少し構えていたようなところがあつたような気がしますが、今回は、皆さんも声をかけてくれて、私を通さずに会話できるようになったのが、本人もうれしかったです。

ちよつと上達したかな。もちろん、蓬田牛もおいしかったです。

今年も瀬辺地自治会の皆さんには、いろいろとお世話になりました。ラジオ体操は、毎朝、界に起こされてちよつとつらかったけど、喜んで出かけていったし、早起きの癖もつきました。走るのも少しは速くなったかな。子ども会の行事にも参加させてもらいました。ゲーム、焼き肉、花火と親子ともども楽しませてもらいました。本当にありがとうございました。蓬田村を離れて17年になる私にとっては、子どもの頃が思い出され懐かしく感じたのと、多少内容は変わっているものの、今も変わらずに行われていることに感謝しました。そして、我が家にとつては日本での

我が家の冬(夏)休み

たみたいです。

産業まつりの頃には、すっかり慣れて、界は友達と遊んでいたし、シヨーンもいろいろ見学して歩いていたようです。二人の津軽弁も

いい思い出になりました。

また、7月の終わりに語学指導手のパークレイさん(ウエス)が来日するというので、シヨーンが少しだけ通訳という形でお手

伝いさせていただきました。シドニーとは日本と教育のシステムが違うので、良い勉強になったようです。普段、敬語等を使うことが少ないので日本語の勉強にもなったみたいです。

現在私は、仕事も辞め、家事・子育てに専念する毎日です。今は、界が来年から学校に通うため、その準備でバタバタしています。家では、日本語を使いますが、今後は話す機会が少なくなると思います。私は、英語をもっと勉強しなければなりません。子どもたちにも日本語を忘れないように、少しずつ教えていきたいと思っています。

これからは、長期の里帰りも難しくなると思います。でも、またいつか、同じ体験をさせたいと思ってますので、その時は、またよろしく願います。あらためまして、役場の皆さん、瀬辺地自治会の皆さん、そして、蓬田村の皆さん、いろいろとありがとうございました。

題「家」



天位 5年 坂本 駿くん
学校の宿題家までついてくる

●佳作

休日には家でたくさんねるんだよ
家の中しーんとしてるおるすばん
おしよがつ家でござうに食べたいな
家の中かぞくのえがおがあつたかい
家だけは家族みんながそろうとこ
家の中家族の心がぼつかほか
きれいな家の中ではごちゃごちゃだ
家の人いつもおこつてあーうるさい
帰る家それがあるのは喜びだ
とりあえず人が住むトコだと思ひます
気づいたらストーブの上に乗つていた
おかえりとしやべればきこえるおかえりと
動いたり飛んだりする家おもしろそう
家の中だんだん家族が減つていく
ひっこしだまえもとなりもボブサップ
いへのなかおかあさんみてきれいだね
家はあるにわはないけど家がある
家だつてすこしはでかけてみたいよね
家の中みんなドタバタイそがしい
家の中あつたかいのはなぜだろう
かえろうよいえでかぞくがまつている
ぼくの家犬の家よりせまそうだ

6年	3年	2年	4年	4年	6年	2年	6年	5年	5年	6年	3年	6年	4年	4年	4年	4年	2年	2年	3年	3年
木村	細谷	加藤	細谷	吉崎	青木	越田	木村	堀	砂田	藤田	三上	大宮	小笠原	沼田	木村	坂本	福士	福井	柿崎	青木
英司	正孝	奏	幹奈	里奈	大輔	恵	英司	潤哉	大樹	哲啓	雅隼	紀子	綾香	恵李	賢太	沙美	かれん	薫花	彩花	岬野



おかじょうき
川柳社
八戸
むさしさん

選評

今回もたくさんの句をありがとう。
「家」というのは、みなさんにとって「あたたかい」「笑顔のある」「楽しい」ところなんですね。「あたたかい」「笑顔のある」「楽しい」という言葉であふれていました。安心しました。
でも、川柳は「あたたかい」「笑顔のある」「楽しい」を具体的に書くことが必要です。
頑張つてね!

人位 「かえ(帰)ろつよ」という呼びかけの言葉を最初に持ってきたのがこの句の性格を決定しましたネ。

地位 「犬の家」ってとてもなく大きいがあるんだよね。英司くんの目の位置が並はずれていてスゴイです。

天位 宿題って家でやるのが普通だと思うけど、それを「家までついてくる」と表現できる駿くんがすばらしい。



ウェスのコーナー
Wes's corner

カナダは、1年中で冬が一番長いです。僕が住んでいたオタワは、11月中旬から4月中旬までが冬。雪は多いし、1月半ばなんて平均気温は-20℃まで下がります。

冬がこんなに長いので、楽しく過ごすため、ウィンタースポーツがとてもさかんです。例をあげれば、スキーやスノーボード、スケート、ホッケーというところかな。そういえば、カナダ人は「ホッケー」のことをわざわざ「アイスホッケー」と言ったり、「スケート」のことを「アイススケート」と言ったりはしません。「スケート」と言えば、すぐにみんな氷の上でするスケートを連想するし、「ホッケー」についてもそうだからです。ただ「ホッケー」と言うだけでは、「フィールドホッケー」なのか「アイスホッケー」なのかわからない国の人もいでしょう。スポーツのイメージは、その国によって違うこともあるんです。

アルペンスキーも歩くスキーも、よくやります。僕は子どもの頃にスキーとスケートを学校で習いました。僕の家族は、スキーもスケートもできなければカナダ人ではない!と言っていました。今になってみると僕もそう思いません。

今カナダもちょうど冬で、友人や家族が電話してくると、必ず聞かれます。「日本にも雪は降るの?」もちろん答えは「イエス」。実際、蓬田は信じられないくらい雪が多いです。オタワも雪が多かったけれど、蓬田もすごい…。悲しいことに、この雪のおかげで、疲れて風邪を引いてしまいました。唯一の救いは、蓬田はカナダほど寒くないことです。

今回はスポーツについて。お楽しみに。

お知らせ

情

報

局

確定申告は

自分で書いて

平成14年分の所得税確定申告の税務署窓口での相談及び申告書の受付は、平成15年2月17日(月)平成15年3月17日(月)までです。

なお、税務署の閉庁日(土・日曜日・祝日等)は、税務署では相談及び申告書の受付は行っておりませんのでご注意ください。

確定申告書や収支内訳書等は、「確定申告の手引き」や「収支内訳書の書きかた」などを参考に自分で記載して、出来上がった申告書等は、お早めに郵送等で提出してください。

税務署においても、申告書等を作成される方のために、記載方法のアドバイスを行うための相談体制をとっておりますが、できるだけ

ご自分で記載した上でおい
ていただくようご理解とご
協力をお願いします。
※郵送先

〒030-8601

青森市長島1-3-5

青森第二合同庁舎内

青森税務署

☎017-776-4241

相続登記は

お済みですか月間

青森県司法書士会は、2月を「相続登記はお済みですか月間」と定めて、相続登記の大切さを啓発する活動月間としております。

そこで、この1ヶ月間は相続登記に関する相談を無料で実施いたしますので、お近くの各司法書士事務所までお問い合わせください。(ただし、調査等を要する場合は有料となります。)

※問い合わせ

青森県司法書士会

☎017-776-8398

参加してみませんか

国際交流事業

内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。

現在、平成15年度の「国際青年育成交流」「日中、日韓青年親善交流」「世界青年の船」「東南アジア青年の船」事業の参加青年を募集しています。

▼募集期間

平成15年3月10日(月)～

平成15年4月4日(金)

※問い合わせ

内閣府(青年国際交流担当)

☎03-3581-1181

青森県青少年・男女共同

参画課

☎017-734-9224

国民年金保険料を

きちんと納めましょう

国民年金は世代と世代をつなぐ支え合いの制度です。原則として20歳以上60歳

未満の人は必ず加入し国民年金保険料を納めることになっていきますが、保険料を納めないままにしておくとどうなるでしょうか。

①老齢基礎年金は40年間保険料を納めると65歳から満額受給できます。しかし、未納期間(保険料を納めていない期間)があるとその期間に応じた分だけ減額されてしまいます。また、保険料の納付済み期間(免除期間を含む)が25年に満たない方は年金を受給できなくなってしまう。

②障害基礎年金は国民年金加入期間中などに病気やけがで障害の状態になった場合に支給されます。

また、遺族基礎年金は国民年金加入者などが亡くなった場合に、その亡くなった人によって生計を維持されていた子のいる妻または子に支給されます。しかし、保険料の納付済み期間(免除期間を含む)が加入期間の3分の2以上ないと、これらの年金は受けられません。

年金というのは、若いときは保険料を納めるだけで自分には関係がないと思われがちですが、若いときにも以外とかかわりが深いものです。将来の安心につながるため、国民年金保険料はきちんと納めましょう。

※問い合わせ

住民生活課 年金係

☎27-2112

「グリーンタウンよもぎた」に関する条件の緩和のお知らせ

村では分譲地をより買い求めやすくするため、規制を緩和して下記の変更内容で販売することになりました。

詳しくは、総務課企画班(☎27-2111)までお問い合わせください。

○変更内容

これからの内容	今までの内容
制限なし。1人で複数可。	1世帯につき1区画。
自ら居住しない住宅用地としても買うことができる。 (例) ○併用住宅でもよい。ただし、騒音・悪臭等で地域住民へ迷惑をかける建物はだめ。 ○建売住宅(モデルハウス等含)でもよい。 ○アパート等の集合住宅用地でもよい。	自ら居住する住宅用地でなければならない。
住宅建設時期の制限なし。ただし、地目変更はだめ。	引き渡し後、5年以内に住宅を建設しなければならない。

傘松川柳同好会

- 不況風家族の絆強くする
重彦
- 不況風仕事も金も皆飛ばす
勝子
- 我が家には不況をとばす笑いある
清乃
- 国策も不況続きで税高く
貴弘
- 公務員不況知らない飯を食う
蓬石
- 血税が一人歩きで不況呼ぶ
樫吾
- 店が消え子の声なくて村さびれ
瓢一
- 雨ならば止むのに止まぬ不況風
和也
- やりくりで不況知らずの台所
年栄
- 不況でもうちの母ちゃん腹三つ
啓子

2月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時 間	担 当
2/3	月	書道教室	中央公民館	13:30	教育委員会
5	水	乳児育児教室	ふるさと総合センター	9:30	住民生活課
〃	〃	陶芸教室	〃	9:00	教育委員会
6	木	生活習慣予防教室「冬の運動不足解消に」	〃	9:30	住民生活課
10	月	書道教室	中央公民館	13:30	教育委員会
12	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	〃
15	土	村民スキー大会	村簡易スキー場	9:00	体協スキー部
17	月	書道教室	中央公民館	13:30	教育委員会
18	火	風しん(乳幼児)予防接種	蓬田診療所	13:00	住民生活課
19	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	教育委員会
21	金	1歳6ヶ月・2歳児健診	中央公民館	12:45	住民生活課
24	月	書道教室	〃	13:30	教育委員会
26	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	〃
28	金	生活習慣予防教室「糖尿病について」	〃	9:30	住民生活課

戸籍の窓



人口と世帯数

	12月31日現在	前月比
総人口	3,625人	(+7)
男	1,710人	(+3)
女	1,915人	(+4)
世帯数	1,103世帯	(+5)

12月受付分

おくやみ申し上げます

川崎 つや	(広 瀬	86歳)
森 清一	(阿弥陀川	84歳)
盛 秋雄	(阿弥陀川 瀬	84歳)
木村やゑ乃	(瀬 辺 地	84歳)
川崎 ソノ	(広 瀬	83歳)

少年少女スキー教室

冬休みも残すところあとわずかという1月8日から2日間にわたり、スキー教室が行われました。みんな上手にすべれたかな？



インフルエンザが流行していますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。かく言う私も流行りに乗って一週間寝込むことに。仕事は遅れる、治療代はかさむ…。健康第一！身にしみた一週間でした。

編集後記

八戸光弘さん(阿弥陀川)宅で蓬田駅の駅舎完成の記念写真を見つけました。
津軽線(青森―蟹田間)が開通したのが昭和二十六年十二月五日。その前後に建てられたのでしようが、いつ頃撮影された写真なのか、詳しいことは持ち主の八戸さんもわからないとのこと。よく見ると知っている顔もちらほら…。

ご存じの方がいらっしやいましたら、ご一報を。

みくらつけた

154